

ナガエコミカンソウ（長柄小蜜柑草）

名前の意味：花や実の柄の長いコミカンソウ。コミカンソウの意味は、小さなミカンのような実がなるという意味。

分類：双子葉類、トウダイグサ科、コミカンソウ属

好きな場所：日当たりのよい道端、プランターの中

分布：本州、四国、九州

原産地：熱帯アフリカ原産

特徴：1枚の複葉のように見える枝、ぶら下がるミカンのような形の実。

種子の運ばれかた：そのまま下に落ちる

花弁の数：雄花は5枚、離弁（花びらが1枚ずつ散る）

花の時期：7—9月

食べ方：食べられない

見分け方：コミカンソウは、実のつく柄が非常に短くほとんど見えない。ヒメミカンソウは、葉がやや細く、枝は斜め上に伸びる

見つけやすさ ★★★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)